

平成4年度 (1992年)

この年、7～8月にスペイン・バルセロナにおいて第25回夏季オリンピックが行われたが、前年に続き、現役学生からの日本代表選手は誕生しなかった。

これまで、関東学連は毎年、必ず何らかの日学連主催全国大会を主管してきたが、東日本学生などの中止に伴い、3年に1度、主管のない年が発生することとなった。この平成4年は、その第1回目の年であった。その分、この年より不定期に強化練習会が行われていくことになる。

この年、最大の特徴は外国人留学生選手の大活躍。新人戦・単複で中国出身の詹莉(淑徳短大)と韓国出身の李泰照(日体大)による留学生同士の決勝で優勝が争われたことに始まり、関東学生では周宏(埼玉工大)が単複を、詹莉が単を取る。周と詹は、全日学史上初の「男女単決勝進出の4人がいずれも外国人留学生」という状況の中で、ついに全日学の単も制した。関東勢が9年ぶりに全日学の男女単複4種目を独占したものの、複雑な想いを抱く関係者も少なくなかった。なお、こういった背景もあり、この年よりインカレにおいて外国人留学生選手は単複を兼ねて出場できなくなった。リーグ戦では、秋季より同様の規制が採用されている(但し、対象は男子1～3部、女子1・2部のみ。男子4部以下、女子3部以下は、従来通り、外国人留学生選手の単複重複出場を認めている)。

団体戦は、男子は徳村・永野・中田を軸とした明大が春秋のリーグ戦を制したが、インカレでは、決勝で中大に、惜しくも2-3で敗れ、タイトル総ナメとはならなかった。中大はインカレ2連覇を達成。なお、関東勢は2年連続でインカレのベスト8を独占している。

女子は青学大黄金時代から混戦時代への過渡期と言える。青学大は春リーグで誰もが予想もしなかった最下位・2部転落を味わう。インカレを制し(3連覇)、「2部校のインカレ制覇」と話題にもなったが、実力が1部トップであるのは万人の認めるどころであり、秋リーグ以後、順当に1部復帰を果たした。青学大は、リーグ戦優勝を9年ぶりに逃し、全個人タイトルも10年ぶりに逃した。しかし、昭和59年秋から平成3年秋までのリーグ戦15季中、12回の優勝は、史上まれに見るハイペースであり、永く讃えられるであろう。女子のリーグ戦は、春・専大、秋・富士短大が制覇した。なお、外国人留学生選手が単複を兼ねられた春季リーグにおいては、李泰照の単複に渡る活躍(単複ともに4勝1敗)で日体大が「初優勝か」と思わせる旋風を巻き起こしたことが印象深い。

個人的には小貫(専大)が女子ダブルスで関東学生と全日学を制し(小貫・大亀組)、全日本では、川嶋(専大)と組んで混合ダブルス準優勝、とペアものに特に強さを発揮した。この全日本・混合複の決勝で小貫を破った大野(早大)は、史上タイ記録となる混合複3連覇(パートナー・渡辺武弘(協和発酵))を達成している。



関東学生単複2冠王、全日学単2連覇の周宏(埼玉工大)



新人戦で単複共準優勝の李泰照(日体大・向こう側) 春リーグの日体大旋風の中心となった韓国留学生

関東学生新人選手権大会…女子は単複とも留学生対決。詹が李を下し2冠を制す

男子シングルス

準決勝

増田秀文(専大)2(12, 10)0 稲垣康生(明大)
坂巻雄一(明大)2(-22, 17, 18)1 渡部将史(中大)

決勝

増田秀文(専大)2(20, -20, 16)1 坂巻雄一(明大)

男子ダブルス

準決勝

渡部将史(中大)2(14, 17)0 増田秀文(専大)
窪久司(中大)2(14, 17)0 三木尚(専大)

小林正佳(専大)2(18, 19)0 松下英司(早大)
坂本竜也(専大)2(18, 19)0 坂本克彦(早大)

決勝

渡部将史(中大)2(14, 19)0 小林正佳(専大)
窪久司(中大)2(14, 19)0 坂本竜也(専大)

女子シングルス

準決勝

詹莉(淑徳短大)2(8, 17)0 野末愉美(青学大)
李泰照(日体大)2(18, 16)0 坂田倫子(日大)

決勝

詹莉(淑徳短大)2(22, 14)0 李泰照(日体大)

女子ダブルス

準決勝

詹莉(淑徳短大)2(6, -16, 19)1 平井由規子(富士短大)
鈴木若菜(淑徳短大)2(6, -16, 19)1 迫由美(富士短大)

李泰照(日体大)2(9, 21)0 榎引佐紀子(淑徳短大)
井口昌子(日体大)2(9, 21)0 前田真澄(淑徳短大)

決勝

詹莉(淑徳短大)2(-10, 18, 17)1 李泰照(日体大)
鈴木若菜(淑徳短大)2(-10, 18, 17)1 井口昌子(日体大)

関東学生選手権大会…外国人留学生が3冠確保。男子・周宏が単複を制す。女子・詹莉の圧勝

男子シングルス

準々決勝

周宏(埼玉工大)3(11, 12, 17)0 糞谷博和(早大)
中田幸信(明大)3(-12, 11, 9, -16, 12)2 増田秀文(専大)

皆川颯一(大正大)3(15, 11, -11, 16)1 窪久司(中大)
安井浩史(日大)3(-17, 17, 17, 19)1 順万雲(東洋大)

準決勝

周宏(埼玉工大)3(17, 26, 9)0 中田幸信(明大)
皆川颯一(大正大)3(-21, 15, 14, 15)1 安井浩史(日大)

決勝

周宏(埼玉工大)3(16, 16, 12)0 皆川颯一(大正大)
(周は初優勝)

男子ダブルス

準決勝

周宏(埼玉工大)2(21, -16, 20)1 山口慶高(青学大)
吉岡直樹(埼玉工大)2(21, -16, 20)1 駒井健一(青学大)

平亮太(早大)2(-15, 14, 20)1 川嶋崇弘(専大)
糞谷博和(早大)2(-15, 14, 20)1 増田秀文(専大)

決勝

周宏(埼玉工大)2(15, -15, 16)1 平亮太(早大)
吉岡直樹(埼玉工大)2(15, -15, 16)1 糞谷博和(早大)
(周・吉岡組は初優勝)

女子シングルス

準々決勝

詹莉(淑徳短大)3(13, -24, 18, 9)1 河合雅世(青学大)
大野知子(早大)3(19, 14, -17, -12, 13)2 大場範子(中大)

小貫菜穂子(専大)3(17, -16, -18, 12, 13)2 李泰照(日体大)
小泉晶子(大正大)3(4, 12, 13)0 横田亜季(青学大)

準決勝

詹莉(淑徳短大)3(11, 10, 10)0 大野知子(早大)
小貫菜穂子(専大)3(6, 14, -20, 22)1 小泉晶子(大正大)

決勝

詹莉(淑徳短大)3(12, 13, 10)0 小貫菜穂子(専大)
(詹は初優勝)

女子ダブルス

準決勝

小貫菜穂子(専大)2(-19, 11, 16)1 河合雅世(青学大)
大亀さくら(専大)2(-19, 11, 16)1 横田亜季(青学大)

中島秋実(富士短大)2(16, 13)0 岡崎留衣子(大正大)
迫由美(富士短大)2(16, 13)0 横山幸子(大正大)

決勝

小貫菜穂子(専大)2(-14, 17, 17)1 中島秋実(富士短大)
大亀さくら(専大)2(-14, 17, 17)1 迫由美(富士短大)
(小貫・大亀組は初優勝。小貫は2年ぶり3回目の優勝)

春季リーグ戦…男女とも「全勝なし・全敗なし」の混戦

男子・早大、女子・青学大はまさかの最下位、2部落ち。
女子・日体大旋風、吹き荒れる。
専大は小貫・上手の2人の5戦全勝で逃げきる。

秋季リーグ戦…明大、徳村・永野・中田、3人が5戦全勝

富士短大は10年ぶりの優勝。青池が5戦全勝
西村監督、就任20周年の区切りV

男子1部

明治大 4 - 0 中央大
1○中田幸信 2(12, -18, 16)1 外間政克
2○坂巻雄一 2(12, -17, 19)1 窪久司
3○永野兼之 2(8, 17)0 大川誠司
4○徳村智彦 2(13, 17)0 大川誠司
中田幸信 入山浩治
5 徳村智彦 渡部将史
6 小畑幸生 板垣孝司
7 飯村敏文 入山浩治
(明治大は2季連続16回目の優勝)

女子1部

専修大 4 - 2 日本体育大
1○竹内めぐみ 2(7, 20)0 長嶋正子
2○大亀さくら 2(-20, 12, 11)1 高橋亜希子
3 小貫菜穂子 0(-17, -11)2 李泰照
志村栄子(李) 泰照
4○小貫菜穂子 2(19, 14)0 李泰照
上手春美(長嶋) 正子
5 高野博美 1(16, -16, -6)2 堤陽子
高野博美(堤) 陽子
6○上手春美 2(18, 13)0 堤陽子
7 高野博美 金子滋美
(専修大は7季ぶり32回目の優勝)

入替戦

男子・青山学院大(2部)4-3早稲田大(1部)
女子・日本大(2部)4-3青山学院大(1部)

男子1部

明治大 4 - 2 専修大
1○中田幸信 2(19, -7, 15)1 増田秀文
2 飯村敏文 0(-18, -14)2 川嶋崇弘
3○永野兼之 2(-20, 19, 12)1 小林仁
4 徳村智彦 1(-16, 17, -13)2 川嶋崇弘
中田幸信 野平剛司
5○山崎一也 2(17, 16)0 三木尚
6○徳村智彦 2(9, 16)0 野平剛司
7 坂巻雄一 藤本武司
(明治大は3季連続17回目の優勝)

女子1部

富士短期大 4 - 2 大正大
1○青池優美 2(8, 19)0 宇佐美由香
2○内藤和子 2(12, 11)0 小泉晶子
3○青池優美(長嶋) 宇佐美由香
内藤和子(長嶋) 有美
4 道広友子 1(18, -17, -17)2 横山幸子
5 中島秋実(迫) 1(-15, 17, -11)2 小泉晶子
迫由美(迫) 正美
6○迫由美 2(13, -14, 2)1 福田正美
7 中島秋実 岡崎留衣子
(富士短期大は20季ぶり8回目の優勝)

入替戦

男子・早稲田大(2部)4-2青山学院大(1部)
女子・青山学院大(2部)4-1日本大(1部)

平成4年度・春季

男子1部	明治大	専修大	早稲田大	中央大	大正大	日本大	勝敗	得失	順位
明治大		○4-2	○4-2	○4-0	●1-4	○4-0	4-1	17-8	1
専修大	●2-4		●1-4	●2-4	○4-1	○4-3	2-3	13-16	4
早稲田大	●2-4	○4-1		●1-4	●3-4	●0-4	1-4	10-17	6
中央大	●0-4	○4-2	○4-1		○4-1	○4-2	4-1	16-10	2
大正大	○4-1	●1-4	○4-3	●1-4		○4-1	3-2	14-13	3
日本大	●0-4	●3-4	○4-0	●2-4	●1-4		1-4	10-16	5



殊勲賞 永野 兼之 (明大)
 敢闘賞 大川 誠司 (中大)
 優秀選手賞 中田 幸信 (明大)
 大川 誠司 (中大)
 三浦 真樹 (大正大)
 最優秀新人賞 三木 尚 (専大)
 馬場 健一 (大正大)

平成4年度・春季

女子1部	青山学院大	専修大	富士短期大	中央大	大正大	日本体育大	勝敗	得失	順位
青山学院大		●2-4	●2-4	●1-4	○4-3	●2-4	1-4	11-19	6
専修大	○4-2		○4-3	●3-4	○4-3	○4-2	4-1	19-14	1
富士短期大	○4-2	●3-4		●3-4	○4-1	●0-4	2-3	14-15	4
中央大	○4-1	○4-3	○4-3		●2-4	●1-4	3-2	15-15	3
大正大	●3-4	●3-4	●1-4	○4-2		○4-1	2-3	15-15	5
日本体育大	○4-2	●2-4	○4-0	○4-1	●1-4		3-2	15-11	2



殊勲賞 上手 春美 (専大)
 敢闘賞 河合 雅世 (青学大)
 優秀選手賞 小貫菜穂子 (専大)
 竹内めぐみ (専大)
 宇佐美由香 (大正大)
 最優秀新人賞 該当者なし

平成4年度 春季リーグ戦成績表

男子	1	2	3	4	5	6
1部	明治大	中央大	大正大	専修大	日本大	早稲田大
2部	青山学院大	埼玉工業大	駒沢大	日本体育大	筑波大	法政大
3部	A 東洋大	東京大	順天堂大	東京理科大	東京電機大	東海大
	B 慶応義塾大	千葉商科大	東京学芸大	横浜国立大	東京農業大	国学院大
4部	A 千葉経済大	学習院大	東京農工大	明星大	東京都立大	独協大
	B 成蹊大	関東学院大	帝京大	立正大	明治薬科大	都留文科大
	C 茨城大	埼玉大	武蔵工業大	武蔵大	群馬大	立教大
	D 神奈川大	東京工業大	創価大	宇都宮大	一橋大	千葉大
5部	A 国士舘大	上智大	明治学院大	日本獣畜大	産能大	中央工学校
	B 大東文化大	淑徳大	文教大	千葉工業大	山梨大	日本工業大
	C 東京経済大	山梨学院大	芝浦工業大	玉川大	横浜市立大	東京工芸大
	D 東京国際大	電気通信大	高崎経済大	工学院大	横浜商科大	東京薬科大
6部	A 西東京科大	I C U	防衛大学校			
	B 二松学舎大	東京商船大	(東京外語大)			
	C 東京医歯大	成城大	湘南工科大			
	D 日工学院専	流通経済大	星薬科大			
	E 東京水産大	東京歯科大	(桜美林大)			

女子	1	2	3	4	5	6
1部	専修大	日本体育大	中央大	富士短期大	大正大	青山学院大
2部	日本大	淑徳短期大	東京女体大	早稲田大	和洋女子大	日本女体大
3部	A 東洋大	東京学芸大	宇都宮大	群馬大	埼玉大	(東京家政大)
	B 東成徳短大	都留文科大	筑波大	文教大	慶応義塾大	茨城大
4部	A 東京農業大	群馬県女大	東京理科大	山梨大	大妻女子大	東京外語大
	B 学習院大	立教大	淑徳大	I C U	明治学院大	
	C 桜美林大	立正大	千葉大	星薬科大	法政大	(産能大)
	D 千葉経短大	創価大	武蔵大	上智大	東京都立大	明治薬科大
5部	A 東京国際大	成城大	(独協大)	(東京歯科大)		
	B 横浜国立大	成蹊大	聖心女子大			
	C 東京薬科大	津田塾大	日本獣畜大			
	D 創価女短大	東京農工大	(東医歯大)			
編成外	流通経済大	産能短期大	共立薬科大	東海大	東京経済大	工学院大
	中央工学校					

「編成外」はリーグ戦登録を行っていないチーム(学連登録のみ行っているチーム)

() はリーグ戦登録後、棄権したチーム

平成4年度・秋季

男子1部	明治大	中央大	大正大	専修大	日本大	青山学院大	勝敗	得失	順位
明治大		○4-2	○4-1	○4-2	○4-3	○4-1	5-0	20-9	1
中央大	●2-4		○4-3	●2-4	○4-3	○4-1	3-2	16-15	3
大正大	●1-4	●3-4		●3-4	●3-4	○4-1	1-4	14-17	4
専修大	●2-4	○4-2	○4-3		○4-0	○4-3	4-1	18-12	2
日本大	●3-4	●3-4	○4-3	●0-4		●2-4	1-4	12-19	5
青山学院大	●1-4	●1-4	●1-4	●3-4	○4-2		1-4	10-18	6



殊勲賞 徳村 智彦 (明大)
 敢闘賞 増田 秀文 (専大)
 優秀選手賞 徳村 智彦 (明大)
 中田 幸信 (明大)
 永野 兼之 (明大)

平成4年度・秋季

女子1部	専修大	日本体育大	中央大	富士短期大	大正大	日本大	勝敗	得失	順位
専修大		●3-4	○4-1	●1-4	●2-4	○4-2	2-3	14-15	3
日本体育大	○4-3		●1-4	●3-4	●0-4	○4-1	2-3	12-16	5
中央大	●1-4	○4-1		●1-4	●3-4	○4-3	2-3	13-16	4
富士短期大	○4-1	○4-3	○4-1		○4-2	●3-4	4-1	19-11	1
大正大	○4-2	○4-0	○4-3	●2-4		●3-4	3-2	17-13	2
日本大	●2-4	●1-4	●3-4	○4-3	○4-3		2-3	14-18	6



殊勲賞 青池 優美 (富士短大)
 敢闘賞 大場 範子 (中大)
 優秀選手賞 青池 優美 (富士短大)
 大場 範子 (中大)

平成4年度 秋季リーグ戦成績表

男子	1	2	3	4	5	6	
1部	明治大	専修大	中央大	大正大	日本大	青山学院大	
2部	早稲田大	日本体育大	埼玉工業大	駒沢大	筑波大	法政大	
3部	A	東洋大	千葉商科大	横浜国立大	千葉経済大	順天堂大	東京電機大
	B	慶応義塾大	神奈川大	東京大	東京学芸大	東京理科大	東京農業大
4部	A	国学院大	立正大	千葉大	東京工業大	東京都立大	武蔵工業大
	B	創価大	東京経済大	学習院大	成蹊大	武蔵大	明治薬科大
	C	関東学院大	大東文化大	茨城大	群馬大	東京農工大	宇都宮大
	D	東海大	帝京大	埼玉大	立教大	明星大	一橋大
5部	A	国土館大	千葉工業大	芝浦工業大	電気通信大	東京医歯大	産能大
	B	上智大	高崎経済大	山梨大	都留文科大	西東京科大	玉川大
	C	明治学院大	独協大	工学院大	横浜市立大	淑徳大	日本工業大
	D	山梨学院大	日本獣畜大	東京工芸大	東京国際大	文教大	横浜商科大
6部	A	東京歯科大	(中央工学校)	(星薬科大)			
	B	I C U	二松学舎大	(桜美林大)			
	C	防衛大学校	東京薬科大	東京商船大			
	D	日工学院専	成城大	東京外語大			
	E	流通経済大	東京水産大	湘南工科大			

女子	1	2	3	4	5	6	
1部	富士短期大	大正大	専修大	中央大	日本体育大	日本大	
2部	青山学院大	淑徳短期大	東洋大	東京女体大	和洋女子大	早稲田大	
3部	A	日本女体大	学習院大	文教大	都留文科大	埼玉大	宇都宮大
	B	東京学芸大	筑波大	東成徳短大	慶応義塾大	千葉経短大	群馬大
4部	A	横浜国立大	創価大	大妻女子大	千葉大	東京農業大	I C U
	B	茨城大	武蔵大	群馬県女大	明治学院大	東京薬科大	(星薬科大)
	C	桜美林大	立教大	東京理科大	上智大	法政大	創価女短大
	D	立正大	淑徳大	山梨大	東京国際大	東京都立大	東京家政大
5部	A	東京農工大	日本獣畜大				
	B	流通経済大	明治薬科大	成城大	(東医歯大)		
	C	東京外語大	成蹊大				
	D	共立薬科大	津田塾大				
編成外	産能短期大	東海大	東京経済大	工学院大	中央工学校	産能大	
	独協大	聖心女子大	東京歯科大				

「編成外」はリーグ戦登録を行っていないチーム(学連登録のみ行っているチーム)

()はリーグ戦登録後、棄権したチーム

平成4年度(1992年)

第62回全日本大学対抗卓球大会(愛知県体育館)…男子・中大2連覇。2年連続ベスト8を関東勢が独占する。
女子・春リーグ(2部落ち)の雪辱。青学大が3連覇達成。

◇男子団体

準々決勝
中央大 3-2 埼玉工業大
駒沢大 3-2 早稲田大
明治大 3-2 日本大
専修大 3-0 大正大

準決勝

中央大 3-0 駒沢大
○大川誠司 2(18,9)0 道広直行
○窪久司 2(14,16)0 須藤悟郎
○大川誠司 2(19,16)0 道広直行
入山浩治 濱中史郎
入山浩治 谷崎明彦
渡部将史 濱中史郎
明治大 3-2 専修大
稲垣康生 0(-9,-20)2 川嶋崇弘○
中田幸信 1(19,-18,-18)2 三木尚○
○徳村智彦 2(21,19)0 川嶋崇弘
中田幸信 増田秀文
○坂巻雄一 2(20,9)0 藤本武司
○徳村智彦 2(-21,11,14)1 増田秀文

決勝

中央大 3-2 明治大
大川誠司 1(14,-17,-19)2 徳村智彦○
○窪久司 2(17,-12,12)1 稲垣康生
○大川誠司 2(-12,11,16)1 徳村智彦
入山浩治 中田幸信
入山浩治 0(-20,-19)2 坂巻雄一○
○板垣孝司 2(17,14)0 永野兼之
(中央大は2年連続6回目の優勝)
敢闘賞 板垣孝司(中央大)

◇女子団体

準々決勝
青山学院大 3-1 淑徳短期大
専修大 3-2 富士短期大
中央大 3-0 中京大
大正大 3-2 日本体育大

準決勝

青山学院大 3-2 専修大
河合雅世 0(-18,-19)2 小貫菜穂子○
○遠藤美香 2(14,16)0 竹内めぐみ
○河合雅世 2(-14,17,13)1 小貫菜穂子
横田亜希 大亀さくら
野末愉美 1(16,-9,-12)2 大亀さくら○
○横田亜希 2(13,-14,19)1 上手春美
中央大 3-1 大正大
○大島美絵 2(14,20)0 小泉晶子
○大場範子 2(16,-18,17)1 横山幸子
大場範子 小泉晶子○
石井陽子 0(-18,-19)2 福田正美
○石井陽子 2(-16,10,19)1 岡崎留衣子
大森あゆ美 福田正美

決勝

青山学院大 3-0 中央大
○野末愉美 2(-7,21,14)1 大森あゆ美
○河合雅世 2(15,19)0 大場範子
○河合雅世 2(19,9)0 大場範子
横田亜希 石井陽子
横田亜希 大島美絵
遠藤美香 石井陽子
(青山学院大は3年連続7回目の優勝)
敢闘賞 横田亜希(青山学院大)

第59回全日本学生選手権大会(京都市体育館)…史上初、男女とも外国人留学生同士の単・決勝戦。

男子・周は2連覇を達成。関東勢は9年ぶりに単復全4種目を獲得。

◇男子シングルス

準々決勝
周宏(埼工大)3(12,12,10)0 飯村敏文(明大)
森本洋治(日大)3(17,19,12)0 増田秀文(専大)
黄若東(大経法大)3(15,13,15)0 靴谷博和(早大)
中田幸信(明大)3(18,9,11)0 順万雲(東洋大)

準決勝

周宏(埼工大)3(16,-20,19,20)1 森本洋治(日大)
黄若東(大経法大)3(-19,17,17,19)1 中田幸信(明大)

決勝

周宏(埼工大)3(16,15,-19,-17,16)2 黄若東(大経法大)
(周は2年連続2回目の優勝)

◇男子ダブルス

準決勝
川嶋崇弘(専大)2(15,-19,10)1 三浦真樹(大正大)
増田秀文 渡辺理貴
周宏(埼工大)2(19,20)0 山崎一也(明大)
吉岡直樹 永野兼之

決勝

川嶋崇弘(専大)2(19,-15,9)1 周宏(埼工大)
増田秀文 吉岡直樹
(川嶋・増田組は初優勝)

◇女子シングルス

準々決勝
詹莉(淑徳短大)3(8,13,8)0 青池優美(富士短大)
大場範子(中大)3(-17,21,19,21)1 范海燕(別府女短大)
韓艶(龍谷大)3(10,11,13)0 野未知穂(日大)
蘇迎学(飯田ビジネス)3(10,8,10)0 石井陽子(中大)

準決勝

詹莉(淑徳短大)3(12,15,15)0 大場範子(中大)
韓艶(龍谷大)3(12,-23,-12,14,18)2 蘇迎学(飯田ビジネス)

決勝

詹莉(淑徳短大)3(14,-19,-17,10,18)2 韓艶(龍谷大)
(詹は初優勝)

◇女子ダブルス

準決勝
小貫菜穂子(専大)2(21,-16,17)1 范海燕(別府女短大)
大亀さくら 藤津由香里
李泰熙(日体大)2(15,19)0 宇佐美由香(大正大)
長嶋正子 藤村有美

決勝

小貫菜穂子(専大)2(12,-18,13)1 李泰熙(日体大)
大亀さくら 長嶋正子
(小貫・大亀組は初優勝)



インカレ優勝の中央大・男子



インカレ優勝の青山学院大・女子

新人戦単復優勝、関東学生、全日学、単連覇の詹莉(淑徳短大)

大野知子、全日本混合複3連覇(パートナー・渡辺武弘)入賞者8人中、学生が5人。



秋リーグ優秀選手賞。明大の3人(徳村・永野・中田)が揃って5戦全勝。



関東学生、全日本学生女子複優勝の小貫・大亀組(専大)